



NBA-03型

山本社長を一言でいうと「ユニークな経営者」ということにつきる。九州大学退官後、環境電子を創業し経営に携わる傍ら、福岡大学理学部応用物理学科の講師として、学生の指導にも努めている。

お客さんからの相談も、「できるだけ自ら聞く」方針で、水道事業体からの相談も多いという。

特にお客さんから寄せられた意見は、「メンテナンスの容易さ、現場に合わせた感度調整、コスト」等という。これらを実現するため、社長自らアイデアを出して開発した「NBA-03型」は、深さを8センチと浅くした監視水槽の上部からCDカメラで常時20匹のメダカの動きを観察し、56ブロックに区分けし瞬時に解析。1分間に1・5Lの水を連続監視する。

また、水槽のメンテナンスを低減するとともに、餌

前回の「創業編」では、環境電子(本社福岡市)の山本隆洋社長が、九州大学に客員教授として在籍中、濃淡処理画像処理技術で特許を取得し、それをコア技術として、バイオアッセイを開発。その後、お客さんの声を取り入れた最新型のバイオアッセイ「水質自動監視装置 NBA-03型」を完成させたことを取り上げた。今回は、その特徴について紹介する。

山本隆洋氏に聞く

バイオアッセイの第一人者

環境電子 ②装置編

0.02mg/Lのシアン検知

は自動給餌とし、手がつかない製品に。価格も初期バージョンの半分程度と抑えている。

アラーム感度についても調整できるアルゴリズムを採用し、警報の段階につい

でも、重警報と軽警報とし、軽警報はさらに注意1〜3と3段階に分けることで、微量の毒物についても早期に警報を発することができるようにした。

これらの改良には、すべて実験やテストで得たデータに基づいている。最近実施した面白いテストとしては、「昨年発生した某食品工場における、次亜塩の誤処理によるシアン検出事例をNBA-03型で社内テストしたところ、0.02mg/L(水質基準0.01mg/L以下)のシアンに対して、軽警報で1時間以内、重警報は11時間後に発報している。これに対し、20匹のメダカは1匹も死亡していない。これが、当社の製品の特徴の一つで、メダカが忌避行動を起こした段階でアラームを出せるように検証を続けた成果だ。目視監視では、おそろこの行動は判別できないのではないか」と話している。

また、お客さんから良くなせ、メダカ(ヒメダカ)

ても、重警報と軽警報とし、軽警報はさらに注意1〜3と3段階に分けることで、微量の毒物についても早期に警報を発することができるようにした。

これらの改良には、すべて実験やテストで得たデータに基づいている。最近実施した面白いテストとしては、「昨年発生した某食品工場における、次亜塩の誤処理によるシアン検出事例をNBA-03型で社内テストしたところ、0.02mg/L(水質基準0.01mg/L以下)のシアンに対して、軽警報で1時間以内、重警報は11時間後に発報している。これに対し、20匹のメダカは1匹も死亡していない。これが、当社の製品の特徴の一つで、メダカが忌避行動を起こした段階でアラームを出せるように検証を続けた成果だ。目視監視では、おそろこの行動は判別できないのではないか」と話している。

また、お客さんから良くなせ、メダカ(ヒメダカ)

ても、重警報と軽警報とし、軽警報はさらに注意1〜3と3段階に分けることで、微量の毒物についても早期に警報を発することができるようにした。

これらの改良には、すべて実験やテストで得たデータに基づいている。最近実施した面白いテストとしては、「昨年発生した某食品工場における、次亜塩の誤処理によるシアン検出事例をNBA-03型で社内テストしたところ、0.02mg/L(水質基準0.01mg/L以下)のシアンに対して、軽警報で1時間以内、重警報は11時間後に発報している。これに対し、20匹のメダカは1匹も死亡していない。これが、当社の製品の特徴の一つで、メダカが忌避行動を起こした段階でアラームを出せるように検証を続けた成果だ。目視監視では、おそろこの行動は判別できないのではないか」と話している。

また、お客さんから良くなせ、メダカ(ヒメダカ)

また、お客さんから良くなせ、メダカ(ヒメダカ)

また、お客さんから良くなせ、メダカ(ヒメダカ)

また、お客さんから良くなせ、メダカ(ヒメダカ)

.....